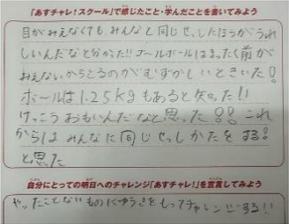


令和6年度心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

<p>学 校 名</p>	<p>市原市立湿津小学校</p>	
<p>ア 全校児童生徒数</p>	<p>516人</p>	<p>(令和6年5月1日現在)</p>
<p>イ 実践対象 (学年・人数など)</p>	<p>5学年(3クラス)・77人</p>	
<p>ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可</p>	<p>令和6年11月14日(木) 左利きの人困っていることについて考えよう</p> <p>令和6年11月18日(月) 視覚障がい者の体験をしてみよう 「白杖を使つての点字ブロック、階段歩き」</p>  <p>令和6年11月19日(火) 身の回りのバリアフリーについて調べよう</p> <p>令和6年11月21日(木) 身体障害がある方々の活躍について調べよう</p> <p>令和6年11月25日(月) パラリンピックの競技について調べよう</p> <p>令和6年11月26日(火) あすチャレ!スクール 「ゴールボールプログラム」</p>    <p>令和6年11月27日(水) 学びの振り返り、手紙を書こう</p> 	

<p>エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校Webページに交流の様子の掲載 ・校内の掲示スペースに活動の様子を掲示(保護者参観で紹介) ・学校だよりに交流の様子の掲載(全校生徒の家庭、並びに地域の各町会へ配付)
<p>オ 実践成果 (児童生徒の変化など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な障がいをもつ人がいること、そしてそれを克服している姿に感動していた。 ・障がいの有無にかかわらず、相手に敬意をもって自然と接することが大切だということに気づくことができた。 ・自分の夢を叶えるためには、失敗を恐れずに自分の考えをもち、表現しようと思うようになった。また、自分だけではなく、周りの人たちの支えがあるからこそ力になると気づくことができた。
<p>カ 次年度の予定 (課題や改善策など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施した単元を、いかに次年度以降に引き継ぐか、学校としての取り組み方を共有していく必要がある。 ・継続的に学校で取り組んでいく場合、どのように体験活動を盛り込んでいくかの見通しが必要。地域や保護者の力を借りて、持続可能な学習活動にしていきたい。
<p>キ 添付資料 (広報資料・Web記事など)</p>	<p>以下、学校ホームページWeb記事</p> <p style="text-align: center;">5年生「あすチャレ!スクール」がありました。</p> <p>11月26日(火)、5年生は「あすチャレ!スクール」(主催:日本財団パラスポーツサポートセンター)でゴールボールプログラムを行いました。</p> <p>北京パラリンピック女子ゴールボール日本代表高田朋枝さんを講師としてお招きし、ゴールボールのルールを聞いたり、実際に3対3の試合を行ったりしました。</p> <p>パラスポーツを学び、よりパラリンピックの競技に関心を高め、障がいをものともしない選手の精神力の強さを感じることができたようです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>